

令和 2 年 6 月 11 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H02005

研究課題名(和文) 対中依存構造化と中台のナショナリズム ポスト馬英九期台湾の国際政治経済学

研究課題名(英文) Taiwan's Dependence on China and the Crash of Nationalism in Cross-Strait Relations: International Political Economy of Taiwan during the Post Ma Ying-jeou Era

研究代表者

松田 康博 (Matsuda, Yasuhiro)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：50511482

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の成果は、1996年の蔡英文政権成立以降、脆弱な基盤の上に成立していた中台間の「和解なき安定」が崩壊し、徐々に中台双方がナショナリズムをぶつけ合うプロセスを明らかにしたことである。第1に、中国は、台湾の経済的対中依存を国民党支持や統一支持に転換することに失敗した上、ほとんど効果のない小規模の対台湾経済制裁しかできなかった。第2に、中国は外交的・軍事的圧力を台湾にかけたが、米国の対台湾支援の増大を招き、台湾住民の安心感をかえって強めた。第3に、香港情勢の悪化が台湾住民の中国への反感と対中ナショナリズムを強める結果をもたらした。これらが、2020年の総統選挙における蔡英文の再選につながった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

東アジア地域において往々にして軽視されてきた台湾情勢と中台関係の変化がどのように発生しているかが、実証的に明らかにした。長期的・継続的研究により既存理論では把握しきれない中台関係の分析枠組みを構築した。また、日本の隣接地域に位置する台湾が中国や米国との関係をどう変化させているかを明らかにすることで、日本がこの地域との交流を進める上で不可欠の知識を提供した。これは本研究の独創的な点である。なお、本研究グループは、日本語に加え、中国語、英語での発表・対外発信を積み重ね、国際的学術交流にも貢献している。

研究成果の概要(英文)：This research project illuminates the structure of economic interdependence, international security, and domestic nationalism during the first term of the Tsai Ing-wen administration in Taiwan. The project provides answers to the puzzle of why, despite increased Cross-Straight trade and investment, the relations have deteriorated. First, China failed to transfer Taiwan's economic dependence on China to the general public's support of the pro-unification KMT due in part to sporadic economic sanctions toward Taiwan which were ineffective. Second, China applied strong diplomatic and military pressure on Taiwan, but such tactics only invited stronger U.S. support for Taiwan, in fact improving Taiwan's security and making the Taiwanese people feel even safer. Third, deterioration of Hong Kong's freedom triggered strong Taiwanese antipathy and nationalism against China. Consequently, President Tsai and the DPP won a landslide victory in the 2020 presidential and legislative elections.

研究分野：東アジアの国際政治

キーワード：台湾 中国 中台関係 安全保障 相互依存 ナショナリズム アイデンティティ 選挙

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

### 1. 研究開始当初の背景

台湾にとって、対中国関係のマネジメントは、その存在にかかわる死活的な問題である。中国が高度経済成長により台頭したプロセスで、最も大きな困難に直面したのが台湾である。中国が台湾を経済的に従属させることで、政治的統一を促進する戦略を持っているからである。台湾は、経済的な繁栄を追求するなら、対中依存を深めてその政治的な自立を犠牲にせざるを得ないという「繁栄と自立のディレンマ」に陥った。民主進歩党（以下、民進党）の陳水扁政権時期（2000-08年）に、台湾は対中依存を深め、このディレンマは深刻化した。台湾独立派である陳政権は、再選と政権の遺産（legacy）のため、自立を重視して台湾ナショナリズムを動員する政治運動を進めた。結果として中台対立が深まり、繁栄を重視する有権者の離反を招いた。

政権交代を経て2008年に登場した中国国民党（以下、国民党）の馬英九政権は、対中融和政策を打ち出すことでこのディレンマに対応した。馬政権は、台湾独立に反対し、同床異夢ながらも「一つの中国」という概念を一定程度共有する「92年コンセンサス」を、中国との間で認め合った。馬政権は中台関係の安定化を図り、双方の話し合いの枠組みを制度化し、「兩岸経済枠組み協定」（ECFA）を含む23の協定を中国と締結することに成功した。中国からの観光客を受け入れたため、中台の人的接触は空前の水準に達した。ただし、中台間の政治的な「敵対状態」は終結しておらず、一部の閣僚級会談が実現したとはいえ双方とも相手を承認していないという状況に変わりはない。つまり、馬政権期に実現したのはいわば「和解なき安定」という局面であった。

馬英九政権は二期目（2012-16年）の開始早々内政面で挫折して台湾内での支持を失い、さらに国民党内の権力闘争に敗れ、急速にレームダック化した。ここで馬英九は政権の遺産構築のために中国の最高指導者習近平との首脳会談を狙い、その地ならしのため中国とのサービス貿易協定批准を強行しようとした。馬英九政権の強行策は、自立を重視する台湾住民の反発を引き起こし、2014年春には学生らが立法院を占拠する「ヒマワリ運動」を招いた。同運動は台湾内部の雰囲気を一変させた。馬英九の対中宥和政策は民衆によって否定され、国民党は同年11月の統一地方選挙で歴史的惨敗を喫した。その後、国民党は総統候補選定で迷走を繰り返して支持率を落とし、2016年1月に実施される総統選挙では、民進党の蔡英文候補の勝利が確実視されていた。このように、ポスト馬英九政権（実際には蔡英文・民進党政権）が、こうした「繁栄と自立のディレンマ」にどのように対応し、そのことによって地域にどのような影響が及ぶのかが注目されるようになった。

### 2. 研究の目的

明らかにしたいと考えた研究目的は以下の通りである。

(1) 地域パワーバランスへの影響である。日米中関係のバランスは、台湾や韓国といったどちらにも付きうるアクター（swing state）の動向によって大きく変化する。「和解なき安定」の消失は、単に中台関係を不安定化させるにとどまらない。地域に出現しつつあるこの新たな構造の分析が必要である。

(2) ナショナリズム衝突の可能性である。台湾では、中国との人的交流が増えたことでかえって台湾人アイデンティティが増大した。特に若い世代の台湾ナショナリズムは顕著である。中国のナショナリズムは、1980年代以降共産党支配体制維持のために段階的に動員され、反日感情増大という副作用を生んだ。折しも習近平政権は、国内で言論統制を強化し、官制ナショナリズムで世論を誘導することを通じて求心力を高めようとしている。中国はナショナリズムをコントロールしながら「中台関係の平和的発展」を維持することが可能なのか、それとも2つのナショナリズムが衝突コースにあるのかを明らかにする必要がある。

(3) 中台の経済関係が極端に中国に傾き構造化したことの政治的意味である。従来の経済依存の理論では中台の状況は十分とらえられない。「対中依存＝中台統一」となっていない現状が示す通り、この構造は非常に複雑でさらなる分析が必要である。加えて、中国経済の減速または停滞という新たな要因も視野に入れて対中依存構造化の分析を進める必要がある。

(4) 不確実性増大の地域的影響である。政治日程から見て、本研究期間中、中台双方でナショナリズムの高揚が見られる可能性が高く、しかもアメリカでも大統領選挙の年を迎え、米中の戦略的競争における不確実性が増大する。アメリカでは中国に対する脱関与政策（フリードバーグ『支配への競争』など）の是非が取りざたされるようになってきている。不確実性の増大した中台関係に対して、日本やアメリカがどう対応するのか、その対応が不確実性を高めるのか、低くするのかを明らかにする必要がある。

### 3. 研究の方法

本研究では、①地域のパワーバランス、②ナショナリズム、③経済依存、④不確実性の4つの要素を念頭に、蔡英文政権期の中台関係とその地域への影響に関して、メンバー間で適切な分業を行い、頻繁な意見交換と共有を通じて統合的な分析を進めた。主な方法は次の通りである。①経常的な資料収集・整理に加え、台湾および中国での現地調査・聞き取り調査によって現状を正確に把握する。②台湾、中国、アメリカでの研究交流・ワークショップ、海外の専門家の招聘を通じて、異なる視点・方法論を取り入れる。③東京で定期的に研究会を開催し、分析を積み重ねる。

### 4. 研究成果

(1) 地域パワーバランスについては、台湾は明確にアメリカ側にスイングした。蔡英文政権は、「現状維持」、「中国を挑発しない」などを基本とした穏健な大陸政策を続けた。他方で中国は、蔡英文政権が一つの中国原則に関わる「92年コンセンサス」の受け容れを拒否していることを理由に、対台湾圧力を増大させた。これに対して、早い時期から、米国では大統領、官僚機構、議会がそれぞれ台湾支援策を打ち出した。蔡英文政権は、1期目の最後には、中国の統一攻勢や浸透工作を阻止する法制度の整備まで行った。米国の対台湾武器売却も空前の規模で進行しつつあり、地域のパワーバランスが中国に傾く傾向にはブレーキがかかっている。

(2) ナショナリズム衝突の可能性については、徐々に高まっている。中国は統一を拒否する蔡英文政権に対して、観光客減少や農産物買い付け停止などの「経済制裁」、台湾を外交承認する国に中国に切り替えさせる外交的圧力、台湾周辺での軍事活動の増大などの軍事的圧力をかけた。加えて香港情勢の悪化や、新型コロナウイルス感染症の蔓延などが続き、台湾における反中ナショナリズムはこれまでになく高い状態にある。他方中国では、習近平政権が、国内で言論統制を強化し、官制ナショナリズムで世論を誘導することを通じて求心力を高めようとしている。中国は、台湾が新型コロナウイルス対策で成功し、世界保健大会（WHA）への参加を強く打ち出したことを「防疫の名を借りた台湾独立の企て」との認識に転換し、国内では「対台湾武力統一論」が復活している。

(3) 中台の経済関係が極端に中国に傾き構造化したことが、米中対立の激化と新型コロナウイルス感染症の蔓延によって変化しつつある。2018～19年には、中国を生産拠点とし、北米を主市場とする台湾系製造業の撤退の動きが加速した。さらに、米国による中国系企業排除やハイテク分野でのデカップリングが進行したことで、世界最高水準の半導体メーカーである TSMC（台積電）などは、ファーウェイなど中国企業に高規格の半導体を売らないようアメリカから圧力を受けている。台湾系企業のサプライチェーンは、感染症の蔓延によって一時期強制的に断ち切られたことで、中国への過度の依存を是正する動きが、これまでになく強まっている。

(4) 不確実性増大の地域的影響であるが、むしろ中台関係は、米中関係の従属変数となりつつある。かつては、中台対立に巻き込まれることを懸念し、中台双方への「二重抑止戦略」を取っていたアメリカであるが、今や台湾支援を明確化し、特に軍事面での協力や、台湾周辺での軍事的プレゼンス強化を進めている。中国の反発は強く、米中間での偶発的衝突の蓋然性は、南シナ海と並んで高まっている。日本は、日中関係改善のプロセスにあり、台湾との安全保障上の協力関係にもないため、中国から直接の圧力を受けることは少ないが、台湾をめぐる米中間の対立が高くなると、日本もこれに巻き込まれることとなりかねず、不確実性の増大は、地域の安全保障環境を悪化させているといえる。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計45件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 24件）

1. 著者名 松田康博	4. 巻 -
2. 論文標題 第2期習近平政権の対台湾政策 『新時代』の中台関係展望	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一般財団法人鹿島平和研究所	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 黄偉修	4. 巻 614
2. 論文標題 「台湾旅行法」の成立をめぐる台湾政治：今後の中台関係を展望する	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 30-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 福田円	4. 巻 195
2. 論文標題 中国とカナダの国交正常化交渉 - 西側諸国との関係改善と「一つの中国」原則の形成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 27-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 小笠原 欣幸	4. 巻 -
2. 論文標題 The Tsai Administration, Local Elections and China-Taiwan Relations	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 THE DIPLOMAT	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 伊藤信悟	4. 巻 621
2. 論文標題 「米中貿易戦争」が台湾経済に与える影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 20-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 2018年11月号
2. 論文標題 中国台頭で変容する国際システム：貿易戦争から「新しい冷戦」へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中央公論	6. 最初と最後の頁 26-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 第2巻 第10号
2. 論文標題 因中國崛起而變化的國際體系：從貿易戰到「新冷戰」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 当代日本与東亜研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小笠原欣幸	4. 巻 第1巻第2号
2. 論文標題 膠著状態下的兩岸關係和川普上台	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Contemporary Japan and East-Asian Studies	6. 最初と最後の頁 pp.1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 江藤名保子	4. 巻 2017年12月号 (No.266)
2. 論文標題 中国の普遍的価値をめぐる葛藤	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア研ワールド・トレンド	6. 最初と最後の頁 pp.26 - 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黄偉修	4. 巻 第30号
2. 論文標題 日本における安保法制の施行と台湾海峡安全保障問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア太平洋討究	6. 最初と最後の頁 pp.129-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wei-Hsiu HUANG	4. 巻 Volume 14, Issue 2
2. 論文標題 Book Review 「Chaina risuku to ika ni mukiau ka: Nikkantai no kigo no chosen チャイナ・リスクと いかに向きあうか: 日韓台の企業の挑戦 (“How to Cope with ‘China Risk’: The Challenges of Japanese, Korean and Taiwanese Firms” ). Edited by Shigeto Sonoda 園田 茂人 and Hsin-Huang Michael Hsiao 蕭新煌. Tokyo: University of Tokyo Press, 2016. Pp. 272. ISBN 10: 4130402750; ISBN 13: 978-413040275-0」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Asian Studies	6. 最初と最後の頁 pp.219-221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1017/S1479591417000080">https://doi.org/10.1017/S1479591417000080</a>	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄偉修	4. 巻 2017年第2期
2. 論文標題 日本新安保法的実施及其對台海安全影響	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 台海研究	6. 最初と最後の頁 pp.69 - 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄偉修	4. 巻 第1巻第1号
2. 論文標題 日本對外政策之中的亞洲區域主義 從自民黨政權到民主黨政權」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Contemporary Japan and East-Asian Studies	6. 最初と最後の頁 pp.1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松本充豊	4. 巻 922号
2. 論文標題 台湾での政権交代後の中台関係	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 交流	6. 最初と最後の頁 pp.1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田円	4. 巻 第71巻第5号
2. 論文標題 書評：毛里和子・毛里興三郎訳『ニクソン訪中機密会談録【増補決定版】』	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代中国月報	6. 最初と最後の頁 pp.28-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田 円	4. 巻 64
2. 論文標題 書評：家永真幸著『国宝の政治史 「中国」の故宮とパンダ』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 pp.79-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.11479/asianstudies.64.1_79">https://doi.org/10.11479/asianstudies.64.1_79</a>	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田円	4. 巻 No.609
2. 論文標題 M503航路をめぐり台湾海峡に広がる波紋	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 pp.8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Madoka FUKUDA	4. 巻 2018
2. 論文標題 Japan's Policy Toward China and Taiwan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Strategic Japan Working Papers	6. 最初と最後の頁 pp.1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田圓	4. 巻 第1巻第3号
2. 論文標題 習近平政權和香港、台灣：『以商逼政』與本土認同的攻防戰	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Contemporary Japan and East-Asian Studies	6. 最初と最後の頁 pp.1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松田康博	4. 巻 第1巻第4号
2. 論文標題 蔡英文政權的誕生及兩岸關係的轉變：『失去的機會』或『新常态的開端』？	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Contemporary Japan and East-Asian Studies	6. 最初と最後の頁 pp.1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 清水麗	4. 巻 第1巻第5号
2. 論文標題 蔣經國・李登輝時期日台關係之轉變：日華・日台雙重結構之遺産	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Contemporary Japan and East-Asian Studies	6. 最初と最後の頁 pp.1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 若林正文	4. 巻 第2巻第1号
2. 論文標題 康寧祥與「黨外」的黎明期：台灣反對運動之中第二次組黨運動的前夕	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Contemporary Japan and East-Asian Studies	6. 最初と最後の頁 pp.1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松田康博	4. 巻 第46巻1号
2. 論文標題 蔡英文政權の誕生と中台關係の転換 「失われた機会」か、「新常态の始まり」か?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 問題と研究	6. 最初と最後の頁 pp. 183-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松田康博	4. 巻 -
2. 論文標題 第 14 章 台湾にとっての米中關係 構造变化から蔡英文政權期を展望する	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 米中關係と米中をめぐる關係 國際秩序動揺期における米中の動勢と米中關係	6. 最初と最後の頁 pp.197-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松本充豊	4. 巻 第164号
2. 論文標題 台湾・新政権の対外政策について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 CISTEC journal	6. 最初と最後の頁 pp.121-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本充豊	4. 巻 第675号
2. 論文標題 台湾のジレンマに挑む蔡英文政権：不確実性増す中台関係と『冷たい平和』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 改革者	6. 最初と最後の頁 pp.26-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本充豊	4. 巻 204
2. 論文標題 民主化後の政党政治 2016 年選挙から展望される可能性	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジア遊学	6. 最初と最後の頁 pp.27-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本充豊	4. 巻 第45巻3号
2. 論文標題 蔡英文総統の政権運営に関する一考察	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 問題と研究	6. 最初と最後の頁 pp.89-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松本充豊	4. 巻 254
2. 論文標題 国会改革 民進党改革案の検討を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジ研ワールド・トレンド	6. 最初と最後の頁 pp.20-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松本充豊	4. 巻 No.251
2. 論文標題 選挙は「お祭り」 台湾 (特集 選挙の風景)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジ研ワールド・トレンド	6. 最初と最後の頁 pp.6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田円	4. 巻 地域研究会 (国別政策研究グループ)
2. 論文標題 第11章 台湾の海洋安全保障政策カントリー・プロフィール	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 インド太平洋における法の支配の課題と海洋安全保障 『カントリー・プロフィール』研究報告書	6. 最初と最後の頁 pp.1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小笠原欣幸	4. 巻 2016年第3期
2. 論文標題 2016年台湾大選分析	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 台湾研究	6. 最初と最後の頁 pp.1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小笠原欣幸	4. 巻 254
2. 論文標題 国民党の今後	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジア研ワールド・トレンド	6. 最初と最後の頁 pp.22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黄偉修	4. 巻 170
2. 論文標題 台湾の馬英九政権における大陸政策決定過程の運営に関する一考察 海峡兩岸サービス貿易協定の締結を事例として	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.54-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黄偉修	4. 巻 593
2. 論文標題 蔡英文政権の中台関係 政治・経済関係からの検証と展望	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 pp.98-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄偉修	4. 巻 62 巻3 号
2. 論文標題 蘇 起著 『兩岸波濤二十年紀実』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 pp.113-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.11479/asianstudies.62.3_113">https://doi.org/10.11479/asianstudies.62.3_113</a>	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若林正文	4. 巻 19
2. 論文標題 台湾の「渦巻選挙」と非承認国家民主体制の苦悩	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 pp.16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高原明生	4. 巻 No.659
2. 論文標題 仲裁判断後の南シナ海をめぐる中国外交	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 pp.4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤幸人	4. 巻 57巻3号
2. 論文標題 台湾半導体産業の発展における後発性と革新性	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 pp.50-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤幸人	4. 巻 592
2. 論文標題 蔡英文政権の経済および社会的課題	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 pp.98-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 750
2. 論文標題 日本の国際協力とアジア外交	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本貿易会 月報	6. 最初と最後の頁 pp.30-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 38
2. 論文標題 国際政治の「圏域」分化とサミット外交	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 pp.84-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 130
2. 論文標題 VISIONS OF PEACE	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NIKKEI ASIAN REVIEW	6. 最初と最後の頁 pp.34-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 No.651
2. 論文標題 サミットと日本	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 pp.1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akihiko TANAKA	4. 巻 35
2. 論文標題 The Spheres in International Politics and Summit Diplomacy	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Discuss Japan	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計91件 (うち招待講演 43件 / うち国際学会 53件)

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 美国特朗普政権対两岸関係の影響：従多重不確定性に戦略矛盾的深化
3. 学会等名 第九屆“中日關係中的台灣問題”學術研討會 (國際學會)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 米中關係の将来 シナリオプランニングによる思考実験
3. 学会等名 新聞協會國際委員會
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 米中關係の新展開 北東アジアへの影響
3. 学会等名 平和政策研究所 / 世界平和教授アカデミー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 台湾2018地方選挙：政治分析與政局展望
3. 学会等名 中国社会科学院台湾研究所（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 MATSUDA Yasuhiro
2. 発表標題 A Dilemma between Security & Economy: Japan's Strategy for the 'New Cold-War'
3. 学会等名 The Centre for International Security Studies (CISS), The University of Sydney（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黄偉修
2. 発表標題 安倍政権下の日台關係：從安倍政権の《国家安全保障戰略》進行的觀察
3. 学会等名 第九屆“中日關係中的台灣問題”學術研討會（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 FUKUDA Madoka
2. 発表標題 The Frontline of Taiwan's Sustainable Diplomacy: The Japan-Taiwan Relations after Taiwanese Democratization
3. 学会等名 The 15th European Association of Taiwan Studies Annual Conference（國際学会）
4. 発表年 2018年



1. 發表者名 福田 円
2. 發表標題 十九大後的日中台關係
3. 学会等名 「十九大後的中國外交、大國戰略與兩岸關係：台日韓學者的觀點」國際研討會（招待講演）（國際學會）
4. 發表年 2018年

1. 發表者名 福田 円
2. 發表標題 圍繞「一個中國」原則的國際政治史
3. 学会等名 首都師範大學歷史學院「世界史國際論壇」（招待講演）（國際學會）
4. 發表年 2018年

1. 發表者名 福田 円
2. 發表標題 日中關係的昇溫與日台關係
3. 学会等名 第十四屆「兩岸和平研究」學術研討會（招待講演）（國際學會）
4. 發表年 2018年

1. 發表者名 福田 円
2. 發表標題 形成「一個中國」原則的國際政治史—中美邦交正常化與中共對台政策的連接
3. 学会等名 中央研究院政治學研究所「IPSAS系列演講」（招待講演）（國際學會）
4. 發表年 2019年

1. 発表者名 福田 円
2. 発表標題 中国の対台湾工作と台湾の「ナショナリズム」
3. 学会等名 アジア政経学会2019年度春季大会自由応募分科会「中国と台湾のナショナリズム：衝突はあるのか？」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田 円
2. 発表標題 形成「一個中国」原則的国際政治史－中美邦交正常化與中共対台政策的連接
3. 学会等名 国立政治大学東亜研究所「東亜所專題演講」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 2017年度中国の国内政治と対外動向
3. 学会等名 ジェットロ・アジア経済研究所専門講座「『アジア動向年報2018』刊行記念企画 - 好景気に沸くアジア諸国の政治動向と見通し」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 習近平政権の統一戦線工作
3. 学会等名 笹川平和財団SPFChina Observer公開フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 中国ナショナリズムの多様化と台湾政策
3. 学会等名 アジア政経学会2019年度春季大会自由応募分科会「中国と台湾のナショナリズム：衝突はあるのか？」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 日中関係の再考
3. 学会等名 財務省財務総合政策研究所「中国研究会」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ETO Naoko
2. 発表標題 Japanese Strategy for Balancing China: The Gravity of Universal Values in the “Free and Open Indo-Pacific” (FOIP)
3. 学会等名 Strategic Japan, Center for Strategic and International Studies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤幸人
2. 発表標題 台湾的年輕人在中国大陆工作（口馬）
3. 学会等名 第九届“中日關係中的台湾問題”學術研討会（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小笠原欣幸
2. 発表標題 蔡英文政權和台湾地方選挙
3. 学会等名 第九屆“中日關係中的台湾問題”學術研討會(國際學會)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小笠原欣幸
2. 発表標題 The Tsai Administration, Local Elections, and China-Taiwan Relations
3. 学会等名 The 5th Taiwan-Japan Strategic Dialogue (國際學會)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小笠原欣幸
2. 発表標題 2018年台湾統一地方選挙の分析
3. 学会等名 日本台湾学会定例研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TAKAHARA Akio
2. 発表標題 Cooperation and/or Competition?: Conflicting Trends in East Asia
3. 学会等名 'Asia and the World' Public Lecture Series, at the Graduate School of International Studies, Seoul National University (招待講演)(國際學會)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中関係に関する政策研究について
3. 学会等名 上海交通大学日本研究センター 開所式・日中平和友好条約締結40周年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中平和友好条約の精神と日中関係の課題
3. 学会等名 中国社会科学院、復旦大学、中華日本学会主催、日中平和友好条約締結40周年記念国際学術シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中関係 過去の合意と今後の課題
3. 学会等名 中国社会科学論壇日中平和友好条約締結40周年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中平和友好条約と日中関係
3. 学会等名 第3回東アジア国際法フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 TAKAHARA Akio
2. 発表標題 China's Genius for Formulating Constellational Concepts: Reform and Opening and the Belt and Road Initiative
3. 学会等名 '40th Anniversary of China's Reform And Opening-Up: Institutional Change And Reconfigurations of China's Political Economy', IN-EAST Institute of East Asian Studies, University of Duisburg-Essen (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 米中対立と中国外交
3. 学会等名 JIIAシンポジウム「米中『新冷戦』と東アジアの国際秩序」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TAKAHARA Akio
2. 発表標題 BRI and FOIP: Can They Coexist?
3. 学会等名 The 6th GSDM International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TAKAHARA Akio
2. 発表標題 BRI and FOIP: Constellational Concepts That Can Coexist
3. 学会等名 Asia Distinguished Scholars Special Seminar, co-organised by the Institute for China Studies and Institute for Peace and Unification Studies at Seoul National University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若林正文
2. 発表標題 殖民帝國下台灣民權運動的歷史意義：一個歷史社會學視野下的解釋
3. 学会等名 台湾大学文学院「王詩琅台湾研究講座」(招待講演)(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 The Strategic Impact of the Taiwan Issue on the U.S.-Japan Alliance
3. 学会等名 Japanese Views on China and Taiwan: Implication for the U.S.-Japan Alliance (國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 試論日本安倍晋三政府的決策特徵：外交與安全政策的戰略與技術
3. 学会等名 国立台湾大学日本研究中心(國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 特朗普上台对兩岸關係的影響-多重不確實性
3. 学会等名 第八回日中關係における台湾問題學術シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 The Prospects for Improved Sino-Japanese Relations Following the 19th Party Congress: Converging Interests Despite in the Same Bed, Different Dreams
3. 学会等名 Japanese Diplomatic/Political History & Studies, Carlton University, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 Sino-Japanese Relations Are More Stable than They Seem
3. 学会等名 East-West Center Washington, (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 不確実な世界の中の中国 ポスト毛沢東時代の終焉か
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akio TAKAHARA
2. 発表標題 History and Japan-China Relations
3. 学会等名 Seminar organized by the Daiwa Anglo-Japanese Foundation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 全球化、区域化与国家的角色
3. 学会等名 北京大学・吉林大学共同主催国際研究討論会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 China's Domestic Politics and Foreign Policy after the 19th Party Congress
3. 学会等名 Japanese Views on China and Taiwan: Implication for the U.S.-Japan Alliance (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 中国の歴史認識と対日政策
3. 学会等名 日本国際政治学会 2017年研究大会 日韓合同部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 Anti-Western Sentiment in Chinese Politics: Why China Rejects Universal Values
3. 学会等名 Southern Political Science Association(SPSA) 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 The Emerging Structure of Japan-China relations: Constant Maritime Tensions and Mutual Cooperation
3. 学会等名 Japanese Views on China and Taiwan: Implication for the U.S.-Japan Alliance (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江藤名保子
2. 発表標題 Changes in Historical Awareness within China and the 'role of Japan'
3. 学会等名 The China Challenge and International relations of the Asia-Pacific (organized by Sun & Star Program on Japan and East Asia in Tower Center, Southern Methodist University) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田円
2. 発表標題 蔡英文政権執政第一年の日台関係
3. 学会等名 第八回日中関係における台湾問題学術シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田円
2. 発表標題 中国とカナダの国交正常化交渉――西側諸国との関係改善と「一つの中国」
3. 学会等名 日本国際政治学会2017年度研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田 円
2. 発表標題 台湾から見た香港
3. 学会等名 シンポジウム「香港の過去・現在・未来」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田 円
2. 発表標題 The Current Situation and Prospects for Taiwan Under the Tsai Ing-wen Administration
3. 学会等名 Japanese Views on China and Taiwan: Implication for the U.S.-Japan Alliance (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田 円
2. 発表標題 Japan's Policy toward China and Taiwan
3. 学会等名 Strategic Japan Program (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黄偉修
2. 発表標題 蔡英文政權の兩岸關係 從台湾面对的決策環境、決策過程進行的觀察
3. 学会等名 第八回日中關係における台湾問題學術シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 家永真幸
2. 発表標題 蔡英文政府的文化政策与两岸關係(2016-2017年)
3. 学会等名 第八回日中關係における台湾問題學術シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小笠原欣幸
2. 発表標題 蔡英文政權的走向与政權運作
3. 学会等名 第八回日中關係における台湾問題學術シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 馬英九政權期の日台關係
3. 学会等名 日本台湾学会第18回學術大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 中国の構造的権力下の台湾 繁栄と自立のディレンマを越えて
3. 学会等名 日本国際政治学会創設60周年記念研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 習近平政權下の米中関係展望
3. 学会等名 現代中国学会関東部会定例研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasuhiro MATSUDA
2. 発表標題 New Taiwanese Government
3. 学会等名 Foreign Correspondents' Club of Japan (日本外国特派員協会) (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 蔡英文の台湾
3. 学会等名 日本記者クラブ (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 馬英九總統第二任期的日台關係 總結與展望
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回“中日關係中的台灣問題”(國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 台湾政權交代後の日中台關係の展望について
3. 学会等名 經濟同友会中国委員会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 台湾の新政權と中台關係の展望
3. 学会等名 経営文化フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 日台關係の現状及其發展趨勢
3. 学会等名 天津社会科学院日本研究所（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 試論美国特朗普新政府对亞太地区的衝擊
3. 学会等名 上海社会科学院（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasuhiro MATSUDA
2. 発表標題 Taiwan 's New DPP Administration: Its Impact on the Cross-Strait Relations and Japan 's Strategic Choices
3. 学会等名 Paper Presentetd to Japan 's Grand Strategic Choices, Program GEAS-Einstein Visiting Fellow Workshop, Graduate School of East Asian Studies, FREIE UNIVERSITAT BERLIN ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 戦後威権主義对台湾社会的影響
3. 学会等名 鄭南榕與言論自由學術研討会 ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本充豊
2. 発表標題 台湾・新政権の対外政策について
3. 学会等名 一般財団法人安全保障貿易情報センター ( CISTEC ) 勉強会講演
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本充豊
2. 発表標題 蔡英文總統的政權運作的考察
3. 学会等名 上海国際問題研究院主催第七回 “ 中日關係中的台湾問題 ” ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中明彦
2. 発表標題 現代の安全保障 「三つの圏域」論の再検討
3. 学会等名 国際安全保障学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akihiko TANAKA
2. 発表標題 World Order: Are We Really on Our Way to the New Middle Ages?
3. 学会等名 The Japan Association of International Relations (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akihiko TANAKA
2. 発表標題 African Development: a Japanese Perspective
3. 学会等名 The Royal African Society
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akihiko TANAKA
2. 発表標題 Japan in Search of Foreign Policy Equilibrium: Post-Cold War Dynamics
3. 学会等名 The National Bureau of Asian Research (招待講演)
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 若林正文
2. 発表標題 中華民國台灣化と馬英九政權
3. 学会等名 日本台湾学会第18回學術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 若林正文
2. 発表標題 馬英九8年政權的位置 中華民國台灣化過程中的國家重組及國民重組的跛行性
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回“中日關係中的台灣問題”(國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masahiro WAKABAYASHI
2. 発表標題 The Baton Relay of Taiwanese History: the Frontier-Dynamism of Empires and the Paradoxical Formation of a Nation-State
3. 学会等名 Rule of Law and Democracy in East Asia (國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 若林正文
2. 発表標題 臺灣歷史的接力賽
3. 学会等名 國立台灣師範大學歷史學科講演會(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 家永真幸
2. 発表標題 台湾的文化政策与兩岸關係 (2008 2016)
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回 “中日關係中的台灣問題” (國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 家永真幸
2. 発表標題 台湾の民主化過程における雑誌メディアの役割 廖為民『我的党外青春』を中心に
3. 学会等名 現代中国学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤幸人
2. 発表標題 総統就任演説が示す台湾經濟の問題と政策的な取り組み
3. 学会等名 アジア政経学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤幸人
2. 発表標題 馬英九政權的税制改革的迷航
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回 “中日關係中的台灣問題” (國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黄偉修
2. 発表標題 日本安保法制的実施與台湾海峡安全問題（中国語）
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回“中日關係中的台湾問題”（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黄偉修
2. 発表標題 台湾の馬英九政權における大陸政策決定過程の運営に関する一考察：海峡兩岸サービス貿易協議の締結を事例として
3. 学会等名 着任研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黄偉修
2. 発表標題 馬英九の大陸政策決定過程運作與蔡英文的挑戰
3. 学会等名 中国社会科学院台湾研究所、兩岸關係和平發展協同創新『2016年第三次兩岸政策觀察論壇』
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小笠原欣幸
2. 発表標題 回顧馬政府執政八年 從滿意度的变化及兩岸關係的視角出發
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回“中日關係中的台湾問題”（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akio TAKAHARA
2. 発表標題 China's External Policies under Xi Jinping: Implications for Japan
3. 学会等名 Distinguished Visitor Lecture, Weatherhead Center for International Affairs, Harvard University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中關係的發展
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回“中日關係中的台灣問題”學術研究討論會(招待講演)(國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akio TAKAHARA
2. 発表標題 Sino-Japanese Relations: Perception Gaps and the Impact of Domestic Politics
3. 学会等名 USC International Forum on Sino-Japanese Relations (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 經濟發展と中国政治
3. 学会等名 孫文生誕150周年記念特別講演会基調講演(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akio TAKAHARA
2. 発表標題 “ A Japanese Perspective on the Dynamics and Prospects of China's Silk Road Initiative ”
3. 学会等名 Eurasia 's Silk Road and Trilateral Prospects for Cooperation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akio TAKAHARA
2. 発表標題 “ New Directions in China 's International Relations ”
3. 学会等名 MERICS lunch seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 中国政治と一帯一路構想
3. 学会等名 科学技術振興機構日中シンポジウム「現代のシルクロード構想と中国の発展戦略」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 習近平政權の外交與中日美關係
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回“ 中日關係中的台灣問題 ”學術研究討論會 (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計18件

1. 著者名 Madoka FUKUDA	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 330(297-322)
3. 書名 Lee Wei-chin ed. 『Taiwan's Political Re-Alignment and Diplomatic Challenges』 「Chap.12 “The Japan-Taiwan Relationship Under the Tsai Ing-wen Administration”」	

1. 著者名 福田円	4. 発行年 2018年
2. 出版社 朝雲新聞社	5. 総ページ数 263(114-117)
3. 書名 平和・安全保障研究所編 『アジアの安全保障2018-2019』 第3章 中国「台湾」	

1. 著者名 清水麗	4. 発行年 2019年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 344
3. 書名 台湾外交の形成	

1. 著者名 松本充豊(第1章)、佐藤幸人(第5章)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 228(31-79, 183-223)
3. 書名 川上桃子・松本はる香編 『中台関係のダイナミズムと台湾 馬英九政権期の展開』 第1章 「『兩岸三党』政治とクライアンテリズムー中国の影響力メカニズムの比較政治学的考察」	

1. 著者名 江藤名保子、森 路未央	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本貿易振興機構アジア経済研究所	5. 総ページ数 612(121-145)
3. 書名 アジア経済研究所編『2018アジア動向年報』 「「社会主義現代化強国」を目指す第2期習近平政権」	

1. 著者名 松田康博（編、序章・第8章著）、清水麗（編、序章著）、若林正文（第1章著）小笠原欣幸（第2章著）、伊藤信悟（第3章著）、佐藤幸人（第4章著）、黄偉修（第5章著）、松本充豊（第6章著）、家永真幸（第7章著）、高原明生（第9章著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 228
3. 書名 現代台湾の政治経済と中台関係	

1. 著者名 家永真幸	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 352
3. 書名 国宝の政治史 「中国」の故宮とパンダ	

1. 著者名 松田康博（分担執筆）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 創土社	5. 総ページ数 352（177-207）
3. 書名 笹川裕史（著、編集）『戦時秩序に巣喰う「声」 日中戦争・国共内戦・朝鮮戦争と中国社会』 「第6章 台湾における中国国民党の社会調査 外来の独裁政権は現地社会をどう解釈したのか？」	

1. 著者名 Akio TAKAHARA	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 442 ( 153-164 )
3. 書名 『Routledge Handbook of the Chinese Communist Party』 「Chapter 10 The CCP 's Meritocratic Cadre System」	

1. 著者名 Akio TAKAHARA	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 387 ( 25-65 )
3. 書名 『China-Japan Relations in the 21st Century: Antagonism Despite Interdependency』 「Chapter 2 Forty-four Years of Sino-Japanese Diplomatic Relations Since Normalization」	

1. 著者名 高原明生	4. 発行年 2018年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 224 ( 131 - 148 )
3. 書名 加茂具樹、林載桓 ( 編著 ) 『現代中国の政治制度 時間の政治と共産党支配』 「第 5 章 中国の幹部選抜任用制度をめぐる政治」	

1. 著者名 福田円	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 504 ( 43-48 )
3. 書名 一般社団法人中国研究所編 『中国年鑑2017』 「特集 . 習近平政権と香港・台湾ー 『以商困政』 とアイデンティティのせめぎあい」	



1. 著者名 福田円	4. 発行年 2017年
2. 出版社 一藝社	5. 総ページ数 168 ( 129-144 )
3. 書名 加茂具樹 ( 編 ) 『「大国」としての中国 - どのように台頭し、どこにゆくのか』「第8章：中国と台湾の関係はどうなるのかー中国は台湾の民主主義にどのように向き合うのか」	

1. 著者名 松田康博	4. 発行年 2016年
2. 出版社 台北市政府文化局	5. 総ページ数 252(7-14)
3. 書名 蔡詠絮編『鄭南榕与言論自由』「戦後威権主義对台湾社会的影響」	

1. 著者名 松田康博	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 240 ( 9-29 )
3. 書名 加茂具樹 ( 著、編集 ) 『中国対外行動の源泉』「第 1 章 中国の対外行動「強硬化」の分析 四つの仮説」	

1. 著者名 高原明生	4. 発行年 2016年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 214,4(123-138)
3. 書名 天兒 慧、李 鍾元 ( 編 ) 『東アジア和解への道』「習近平政権の外交と日米中関係」	

1. 著者名 Akio TAKAHARA	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Victoria University Press	5. 総ページ数 304(145-152)
3. 書名 Bo Zhiyue [ed] 『China-US Relations in a Global Perspective』	

1. 著者名 家永真幸 (分担執筆)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 384(73-75, 96-99, 292-295)
3. 書名 赤松美和子、若松大祐 (編) 『台湾を知るための60章』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>松田康博研究室HP【基盤A】対中依存構造化と中台のナショナリズム ポスト馬英九期台湾の国際政治経済学  <a href="http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~ymatsuda/jp/kaken2016.html">http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~ymatsuda/jp/kaken2016.html</a>          電子ジャーナル『當代日本與東亞研究』  <a href="http://jeast.ioc.u-tokyo.ac.jp/">http://jeast.ioc.u-tokyo.ac.jp/</a>          OGASAWARA HOMEPAGE  <a href="http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ogasawara/">http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ogasawara/</a></p>
--

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	松本 充豊  (Matsumoto Mitsutoyo)  (00335415)	京都女子大学・現代社会学部・教授   (34305)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	黄 偉修 (Huang Wei-hsiu) (00733130)	東京大学・東洋文化研究所・助教  (12601)	
研究分担者	福田 円 (Fukuda Madoka) (10549497)	法政大学・法学部・教授  (32675)	
研究分担者	小笠原 欣幸 (Ogasawara Yoshiyuki) (20233398)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授  (12603)	
研究分担者	江藤 名保子 (Eto Naoko) (30648332)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター東アジア研究グループ・研究員  (82512)	
研究分担者	若林 正文 (Wakabayashi Masahiro) (60114716)	早稲田大学・政治経済学術院・教授  (32689)	
研究分担者	高原 明生 (Takahara Akio) (80240993)	東京大学・大学院公共政策学連携研究部・教育部・教授  (12601)	
研究分担者	佐藤 幸人 (Sato Yukihiro) (90450460)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター・研究センター長  (82512)	
研究分担者	益尾 知佐子 (Masuo Chisako) (90465386)	九州大学・比較社会文化研究院・准教授  (17102)	

## 6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	家永 真幸 (Ienaga Masaki) (90632381)	東京女子大学・現代教養学部・准教授  (32652)	
研究分担者	清水 麗 (Shimizu Urara) (80338300)	麗澤大学・外国語学部・教授  (32506)	
研究分担者	佐橋 亮 (Sahashi Ryo) (00540866)	東京大学・東洋文化研究所・准教授  (12601)	
研究分担者	田中 明彦 (Tanaka Akihiko) (30163497)	東京大学・東洋文化研究所・教授  (12601)	